

岩手県食の匠

鈴木協子さんを認定



認定に笑顔を見せる鈴木さん／認定されたすめるめの口っこ煮

「岩手県食の匠」に、鈴木協子さん（山田・68）と鈴木さん製作の「すめるめの口っこ煮」が認定されました。岩手ならではの食材や食文化の発信活動を通じて地域の活性化を目的に県が実施しているもので、本町では5人目となります。

今回認定されたすめるめの口っこ煮は、天日干しされたすめるめに大豆や乾物などを加えて煮付ける本町に古くから伝わる郷土料理です。鈴木さんは「昔から伝わる町の食文化を若い世代にも伝えるため、今後も郷土料理の普及に努めたいです」と話していました。

中学生の「税についての作文」

豊間根中の佐藤さんと上田さんが入賞



入賞に笑顔を見せる佐藤優佳さん（写真右）と上田菜里さん

全国納税貯蓄組合連合会が主催する中学生の「税についての作文」で、豊間根中3年の佐藤優佳さんが作文「二枚のポスターから」で岩手県納税貯蓄組合連合会会長賞に輝き、同校3年の上田菜里

さんが作文「税金は未来への第一歩」で宮古税務署長賞を受賞しました。

同コンクールは、租税教育推進活動の一環として毎年行われているもので、作文を通して中学生に税の仕組みや役割を正しく理解してもらい、これを目的としています。全国7326校から58万4661編の応募がありました。

食の匠公開講座

一緒に学んでみませんか

◎宮古地方「食の匠の技」公開講座

▷日時 2月26日（火）
午前10時半～午後1時10分

▷場所 フラットピアみやこ
（宮古市田の神）

▷内容 ▶鈴木協子さん（すめるめの口っこ煮）▶小本英子さん（すめるめの酢漬け）▶佐々木悦子さん（梅大福）——が講師として参加者に岩手県食の匠認定料理を伝授します。

▷持ち物 エプロン、三角巾

▷参加料 1人700円（材料代）

▷定員 20人（先着順）

▷申込期間 2月4日～20日

※定員になり次第締め切ります。

◆申込先・問い合わせ 宮古農業改良普及センター（☎64-2220）へどうぞ。



人権作文コンテスト

山田中の伊藤さんが入賞

盛岡地方法務局などが主催する平成24年度全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会で、山田中3年の伊藤優希さんが宮古人権擁護委員協議会長賞に入賞しました。

伊藤さんは「今こそ考える～いじめのない社会を～」を題名に社会問題となっているいじめに対する思いを自身の震災などの経験をもとに書きました。この入賞に伊藤さんは「このような素晴らしい賞を受賞することができてうれしいです。この作文にいじめがなくなるとの思いを込めて書きました。書いてる途中、いろいろな気持ちが込み上げてきましたが、一人でも多くの人に自分の気持ちを発信したいと思い、書き上げました」と話していました。



伊藤 優希さん
（山田中3年）